広報五城目
発行所　秋田県五城目町役場　編集　総務課
（電話　五城目　501番～505番）
印刷所　小浜印刷所　電話6058番（一部五円）

12月の町税

▶ 町民税納期限　12月25日
▶ 国民健康保険税　〃　12月25日

12月は町税納期の最後の月です。期日は25日限りですから、おわすれなく納めてください。

ごみ処理を民間へ委託

12月2日から業務開始

町では十月町議会臨時会で、清掃条例の一部を改正し、ごみ処理を民間業者に委託することにしました。

これは、町の冗費をはぶき、ごみ処理を円滑にして、住民へのサービスの向上をはかろうとするものです。いまこの事業に加入している世帯は九二〇で、一日に出るごみの量は一般家庭から約二、七〇〇キログラム、工場など大口で約一、五〇〇キログラムとなっており、このごみを毎月一世帯について三回以上の収集を行ない、焼却場で処理することを民間業者へ町で委託するわけで、手数料も従来のとおりですし、加入している方々はいままでとは何んら変った点はありません。

柳原繁さんと委託契約

町では民間業者へ委託するために、十一月一日から十日間、受託希望者を公募したところ、五人の業者から申し込みがあり町では清掃法施行令第二条の二の定める基準によって厳正に審査し、柳原繁さん（新丁、町名改正で一番町）に決定し、十一月三十日に「ごみ収集処理委託契約」を結び、十二月二日から業務を開始します。契約期間は一年更新で、今年度は明年三月三十一日までです。

未加入者は是非加入を

ごみ処理区域（五城目本町）全世帯のうち、加入している世帯は約六割で未加入の方は自家処理となっていますが、指定外の所、つまり護岸などはいつもごみの山となり、町の美観をそこねていますので、未加入の方は是非加入し、処理するようにしてください。

しわす

十二月を迎えるとだれしもああもう一年が終わるのか、と月日のたつ早さをしみじみと感じます。そしてこの月の一日一日はさらにあわただしく、わたくしどもは一年のしめくくりと迎春準備に忙殺されることであります。

さて、七日は節気で大雪、寒さが本格的になります。かぜなどひかないよう、十分防寒につとめましょう。

十五日から年賀郵便特別扱いが始まります。早目にどうぞ。二十二日は冬至。一年中でいちばん夜が長い日で、ゆず湯にはいったり、かぼちゃを食べる風習があります。二十三日は皇太子誕生日。二十八日は官庁や会社の御用納めで、この日にことしの仕事を終わります。三十一日は年越し。どうかよいお年を迎えられますよう…。

年末年始の休み

役場の事務は次のとおり休ませていただきます。急用の方は当日直者へお話しください。

▽ 十二月二十八日午後から三十一日まで。
▽ 一月一日から三日まで。
▽ 一月四日から平常どおり事務をとります。

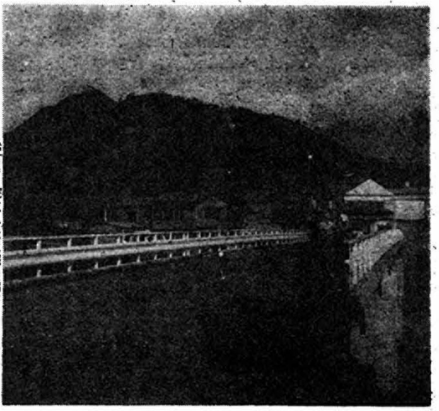
馬場目に大型児童館

12月25日完成の予定

馬場目に大型児童館を建てるため、十一月十五日午後一時から役場第一会議室で入札を行なった結果、富津内の伊藤伍助さんに二百八十万円で落札しました。

建物は木造平屋造りで一八七・四二三平方メートル（五六・七九坪）それにテラス、玄関が三〇・四三二平方メートル（九・二五坪）あわせて二一七・八五六平方メートル（六六・〇一坪）の大型で、ホール、小会議室、図書室、遊戯室などがつくられ、そのほか砂場、ブランコ、鉄棒などの遊具も備え付けることになっています。建設場所は小学校の東側になります。

工事費の内訳は国庫補助金が八十万円、県補助金が八十万円町負担が百二十万円となっており、十一月十七日から工事にかかり、十二月二十五日にでき上ります。



（写真　完成した五城目橋）

五城目橋完成

県道秋田～森吉線にかかる新丁、中川原間の五城目橋は、昭和三十九年十月から着工し、昭和四十一年十月に竣工しました。

この橋は、下部が菅与組、上部は東京PSコンクリートの手ですすめられ、長さ九十五米、巾は橋が六米、取付道路が五・五米の近代的な永久橋で、取付道路と付帯取付道路を含めて総事業費は八千八百十九万七千円となっています。

十一月二十一日現地で竣工式を行ない、久保の一関金八さん(75)一家三夫婦が渡り初めをしました。

（写真　はなやかな渡り初め）

ロータリークラブ　友愛の灯二基寄贈

五城目橋の完成とともに、五城目ロータリークラブでは、近代橋にふさわしいナトリューム灯二基（一基十二万六千円）を寄贈　橋の両端に取り付けました。

この灯は〃友愛の灯〃と命名され、本町の産業、文化並びに交通安全に対する役割りが大きいとして、町長から感謝状が贈られました。

おふろの効用

夕方、寒い戸外から帰ったとき、あるいは残業のあとはいるおふろは、なんともいえないほどうれしいもの。おふろはわたくしたち日本人の生活には欠くことのできないものです。

入浴の効用はまず、筋肉労働の人は筋肉を、頭を使う人なら頭のうっ血をときほぐしてくれます。とくに冷え症の人は足腰をあたため体中の血の循環をよくします。

二番目に、皮膚は皮脂、汗線から出る水分、外からつくほこりや細菌などで、ひじょうに汚くなっていますが、入浴で皮膚呼吸がさかんになり、肌がいきかえります。

三番目に、一回の入浴は約千米歩くほどのエネルギーを消耗するといわれ、この上ないよい運動になり、食欲増進、便通をよくし、血液のめぐりも、排せつ器官の働きもよくなります。

ただ、丈夫でない人は長湯熱い湯は感心しません。大体四十一、二度が適温とされています。

善意に感謝

中川原、熊谷直さん（行政書士）から、なくなった奥さんの香典返しとして金一万円を町の善意銀行へ予託しました。使途についてはご本人の希望をいれ町の「ガン対策」に使うことにしました。

新年名刺交換会

昭和四十二年の新年名刺交換会を次のとおり開催します。多数のご参加を希望します。

▽日時　一月一日午前十時から
▽場所　役場第一会議室
▽会費　一人二百五十円
▽参加申込　十二月二十七日までに会費を添えてお申し込みください。
▽申込先　役場総務課　中央公民館　大川出張所

◎名簿をつくる都合もありますので期限内にお願いします。なお、変更などあるときはポスターかチラシでお知らせします。

お知らせ

▼ 新入学児童健康診断

昭和42年度の新入学児童健康診断の日程が決まりました。なお、各検査の時間は午後1時です。

▷ 五城目小　12月20日（火曜）140人（担当湖東病院、田口歯科医院）
▷ 馬川小　12月16日（金曜）19人（担当湖東病院　渡辺歯科医院）
▷ 馬場目小　12月14日（水曜）33人（担当畑沢医院　田口歯科医院）
▷ 杉沢小　12月6日（火曜）12人（担当畑沢医院　田口歯科医院）
▷ 富津内東小　12月8日（木曜）26人（担当加藤医院　渡辺歯科医院）
▷ 富津内西小　12月13日（火曜）25人（担当加藤医院　渡辺歯科医院）
▷ 内川小　12月9日（金曜）31人（担当加藤医院　安東歯科医院）
▷ 大川小　12月5日（月曜）34人（担当小松医院　小玉歯科医院）

▶ 五城目地区鳥獣保護区域

狩猟の解禁中ですが、下記の場所は捕獲が禁止されています。鳥獣保護増殖のためご協力ください。

▷ 野鳥愛護林　関が沢（馬場目中学校林）期限　昭和51年10月31日まで。
▷ 休猟区　岩野～平ノ下間　期限　昭和42年10月31日まで。
▷ 銃猟禁止　矢場崎（五城目高校）期限　昭和50年10月31日まで。
▷ 同　下山内（第一中学校）期限　昭和50年10月31日まで。

▼ 忘れてはならない　俸給生活者の税金精算

給料などを支給している給与の支払者は、1年間納めた源泉所得税を12月の最後の給与で精算するため、年末調整をやらなければなりません。そこで忘れて損をする次の申告書を調整する前に支払者へ届けなければなりません。

(1) 扶養控除等申告書　扶養家族の数に異動があった場合、または本人が障害者、老年者、寡婦・勤労学生に該当する場合。
(2) 保険料控除申告書　本人が支払ったもので受取人が本人かまたはその親族である場合の生命保険、簡易保険、郵便年金、農協生命共済の保険料および損害保険（家屋、家財の火災風水害盗難保険料）ならびに社会保険料がある場合。　（秋田北税務署）

▶ 農地報償金の請求申請　期限がせまっています

農地報償金の請求申請の期限がせまっていますので、まだ手続きをしていない方は、至急手続きをしてください。

広報サロン

▼「顧みず行人に年暮るるかな亜浪」

ことしも今月でおしまい。満足な一年だった人もあろうし、悔恨にホゾをかむ人もあろう。百事如意とはいかないが、それもこれも、来年からやり直しといこう。

▼官公署などの会計年度をのぞいて、〃万事〃を十二月と一月とで、ひと区切りをつける。それがむかしながらのならわし。よい状態の人はよりよく、逆境の人は立ちなおりのために気分を転換しよう。

▼「いささかの金欲しがりぬ年の暮　鬼城」

万人共通の気持ちを詠んでおり、この句のようにゆとりをもたない人がいっぱいいるのではなかろうか。手近なところでは冷害にたたかれ、減収にあえぐ農家の方たちで、ことしは特に出かせぎが多いという。

▼「年くるるやふえさと寒き山ばかり　草太郎」

これからがほんとうの冬だ。雪の害は、交通を麻痺（ひ）させ、水道管を破裂させ、電話線が切れるなど、わたくしどもの日常生活に結びついた不便だけに、やりきれない気持ちである。

▼一年のあと始末が終われば家族とともにたのしむ正月のダンランが待っている。〃あす〃への意欲をつちかうためにも、楽しむときは楽しんでおこう。（M）

42年4月1日から
上水道事業を公営企業に

本町の上水道事業は昭和三十六年一月から給水を開始し、現在に至っておりますが、その間即ち昭和三十七年には水源改良工事、同三十八年、三十九年には富津内地区に給水区域を拡張するなど、相当額の投資をつづけ、しかも、原価計算を無視して当初の水道料金を昭和四十年七月まで据え置いたことなどがもととなり、昭和四十年度決算では累積赤字が一千六百二十三万八千円となったのであります。

町ではこの赤字を解消するために、諸経費や人件費の節減につとめるとともに、昨年七月料金の改訂を行ない、さらに一般会計から繰り入れするなど、積極的に財政の建てなおしにつとめてまいりました。

国の援助で赤字を解消

今年七月五日公布施行された地方公営企業法の一部改正で、全国的に悪化の一途をたどっている地方公営企業の建てなおしをするために、国では規模の大小をとわず、昭和四十二年四月一日からこの法律を適用することになりました。

これは、国から再建債を借り受け、利子の一部も国で負担し最低の利子をもって、昭和四十六年度までに赤字を全部解消し上水道事業の財政を健全なものにしようとするものであります

この法律の適用を受けるにはことしの十二月三十一日以前に自治大臣に願い出したものに限られ、本町では十二月一日から適用するため、十一月二十九、三十の両日にわたって開かれた臨時議会の議決を得て、これをすすめております。

公営企業とは

町村が経営する事業で、たとえば上水道とか、ガス事業、電気事業などで、これには地方公営企業法が適用され、その会計は独立会計によって行なわれます。

史跡めぐり

消える瀬戸座

その二

分銅志静

県内の焼物といえば、仙北郡角ノ館在の白岩焼が有名であるが、その歴史はそんなに古くない。明和八年（今から百九十五年前）に福島の相馬の陶工である松木運七が来て開いたものでその後このカマは秋田佐竹藩の保護をうけ大発展したが、明治維新後急速におとろえて、明治三十年代に大体終末をつげたようである。しかし秋田の焼物といえば白岩と言われるほど規模も製産量も圧倒的であって、五城目焼などは全くそのかげにうずもれていたといってもよい。

しかし五城目のセトザは地方のカマとしては技術的に相当すぐれたものをもっており、その面から五城目セトザが大きく再評価されているのが現状である。

とくに注目すべきことは、文政十年（今から百三十八年前）に白岩から吉松という陶工が五城目セトザへ来て、菅原政五郎という陶工から焼物にかけるウワグスリの秘伝書を受けているその秘伝書は「楽の法秘書清水焼伝」となっていて、それをみると、文政頃の五城目の技術が非常に高かったことがよくわかる。その技術の内容は楽焼、油滴釉、各種各様のものであり、技法は京都清水や瀬戸の系統をうけついでいる。これらは現在の五城目附近につたわっている遺品やカマ跡から出る陶片などから推して、おおむね符合することなので、この五城目焼とは系統のちがったかわった存在であることがうかがえる。

県の文化財専門委員である小野正人氏はこのような見地から県内の焼物を大別して相馬系の白岩焼と美濃系の五城目焼に分類している。しかし秋田というせまい土地においては、白岩のような強大な生産地の影響を受けない筈がなく、五城目も後期には白岩と類似のものを多くつくっており、今のこっているもののなかには両者いずれとも判別のつけがたいものがある。

しかし五城目のものは土質のためか全体が軽く、そして細工のうすく、こまいのが特徴である。五城目と白岩と同じ大きさの瓶があれば、五城目の方はずっと軽く、高台のつくりなどもするどい感じをもっている。

またウワグスリの種類も黒、飴、鉄、紫がかった飴、緑などと変化に富んでいる。

県工業試験場の工芸課長である陶工の野口正治氏は五城目セトザから発掘された陶片をみてそのロクロの技術の非凡なことにおどろいていた。五城目には相当すぐれた陶工がおったようである。しかし五城目セトザは秋田藩の記録にものっておらず民間の一企業にすぎなかったようである。しかし焼物の業をいとなむには漠大な資金を要するので、五城目町の富豪の誰れかがそれを支えておったものと思う。秋田藩保護を受けなかった五城目焼は幕末の太白焼（白い焼器）の流行などに押されて、維新の十年ほど前に廃絶となったようである。その終末については何も徴すべき文献がない。

しかし天文という早い時代から三百年近くもこの町に製陶の伝統がつづいたということは、それを支える五城目の経済や文化の高さをものがたっている。と同時にその有力な販路となった五城目市場の存在も忘れてならない。

また前にのべた文政の秘伝書をみると、当時五城目のセトザは五十目瓦山と呼ばれていたようである。県史跡に指定されたカマ場の下の方に瓦を焼いたカマ跡が二ヶ所ばかりあったが、それも五小グランドの尊いいけにえとなって永久に消えることとなった。（郷土史研究家）

（セトザで作られた水注　県文化財）

統計功労で知事表彰

第十三回秋田県統計大会で、本町の調査員斎藤正雄さん（昭辰町）石川力也さん（水沢）の二人は、統計調査十年以上の功労で知事の表彰を受けました。

また、五城目町も統計優良で団体表彰を受けました。

県商工祭で三氏が入賞

県商工会議所連合会、県中小企業団体中央会、県商工連合会主催の第十八回全県商工祭は、大曲市で開催され、本町からは次の方方が入賞しました。

▽会長優秀賞　変形竿灯障子…目黒建具製作所
▽会長優良賞　水煙硝子障子…大手木工所
▽会長奨励賞　尺三スシ冷し鉢　五城目桶たる協同組合

歩こう会で二氏を表彰

五城目町体育指導委員会主催の〃歩こう会〃は毎週日曜に行なっていますが、毎回休むことなく出席された御蔵町の小玉鶴夫さんと畑井時治郎さんを表彰しました。

合川町
五城目町
母親文庫

交流集会開く

去る二十五日（金）前十一時すぎに、役場二階会議室において、北秋合川町母親文庫学級生を迎え、本町大川母親文庫学級生を中心に、約六十名の参加で交流研究集会を開催したが、体験発表では大川の加藤セイ子さん合川の本間愛子さんの二人がそれぞれの地域における貴重な発表が行なわれ、講演では県立図書館の畠山奉仕係長から、〃選書・読法・読後処理法〃…などをめぐって、「上手な読書の方法」と題してお話しがあり、話し合いでは大川八柳千代さんの司会によって、母親文庫の組織・運営・文集活動などをめぐり、熱心な意見の交換が行なわれ、午後三時十五分大きな成果を互いに認め合いながら終了しました。なお合川町からは和田社教主事をはじめとして、八名の参加でした。

年末・年始の防犯を
町民みんなの手で

みなさんの明るく平和な生活を守るため、警察では防犯組合と協力して、防犯に努めてまいりました。今年も残り少なくなってご多忙のことと思います。

さて、年末・年始はとくに各種犯罪や事故などが多く発生することが予想されるので警察と防犯組合では、左記によって警戒取締りを強力に実施することにしましたので、各家庭でも、それぞれの立場からご協力くださるようお願いします。

記

一、年末・十二月一日〜十二月三十一日まで
二、年始・一月一日〜一月七日まで
三、警戒取締りの重点

◎盗犯の防止
戸にも鍵・心にも鍵
◎暴力事犯の追放
暴力や迷惑行為は街の恥しない・させない・見のがさない。
◎少年の非行防止
少年を犯罪から守りましょう。
家庭は非行の防波堤
少年の非行への道〃酒・煙草
◎交通事故防止
酒のみ運転の防止
飲んだら乗るな　乗るなら飲むな。車の鍵はいつも完全に保管しておきましょう。

－注意－
※1.多額の現金輸送等はかならず二人以上ですること。
2.遠路の場合は自動車などを利用すること。
3.なるべく女性や老人はさけること。
4.必要によっては必ず警察に連絡し、輸送などの警戒を依頼すること

最近中学生・高校生の非行が目だってきました。特に女子が非行少年などに誘惑されて家出・金品持出し・不純な交遊などする傾向が多い。

2.五城目警察署管内で、本年一月から十月まで補導された少年は
(1)犯罪少年が七〇名（除く道交法違反）特に多いのは窃盗二七名　暴行一三名などです。
(2)ぐ犯少年が一七六名
特に多いのは高校生の飲酒一四名・喫煙二三名不健全娯楽二六名・家出七名などです。

※特に冬期休校中などは、非行が行なわれやすいので十分注意してください。年末・年始の特別警戒実施中は、警察の防犯係では少年委員会・職場補導連絡委員会と連絡協調をはかり、強力な補導活動を展開しますので、一般の方達のご協力を希望します。

五城目警察署
五城目地区少年委員会
五城目町防犯防火組合

成人式と研修会のご案内

本町教育委員会並びに中央公民館では、昭和四十二年の「成人式」開催についていろいろ準備を進めていますが、その概要は次のように編成しておりますので、成人およびご父兄のご協力をお願い申しあげます。

◎成人式の概要
期日・一月五日（木）
時間・前八時受付開始
　前十時開式
場所・於　五城目小学校
内容・◎式典
　◎記念行事
　1.講演
　2.ブラバン演奏
　3.感想文募集
　4.成人の主張など

原則として本町在住者（住民登録しているもの）に限り対象となるが、成人式参加希望のため帰郷される方などは、早目に中央公民館（電話四一四番）へ連絡してください。

なお十一月二十六日から十二月二十四日までの毎週土曜に、新成人の研修会を開催していますので、みなさん誘い合って多数参加くださいますようお待ちしております。

◎新成人の研修会
期日・毎週土曜日
時間・午後二時〜四時
場所・於　中央公民館
内容・◎成人式内容の話合い
　◎政治・経済・文化・産業・教育など

全県森山登山競技の入賞者

第十回秋田県森山登山競技会は、十一月三日約二百名参加して行なわれ、次の方方が入賞しました。

▼中学個人
優勝　金沢辰男杉中　21分27秒
準優勝　伊藤薫　馬中
三位　猿田和広　五一中四位安井鉄雄　杉中　五位小玉幸雄五一中　六位　館岡喜美雄　杉中
▼中学団体
優勝　内川中Aチーム20分19秒
準優勝　五一中Aチーム三位五一中Cチーム
▼一般個人
優勝　原田正義　20分49秒
準優勝　菅生久　三位伊藤定雄
▼一般団体
優勝　五高Aチーム　21分18秒
準優勝　五城目営林署チーム
三位　五高Bチーム

戦没者の特別弔慰金

戦没者の遺族は特別弔慰金として三万円もらえます。次のことがらに該当する方は早く請求してください。

▽昭和十六年十二月八日以後の戦没者の遺族▽昭和四十年四月一日において公務扶助料、遺族年金などを受けていない遺族▽前に五万円の弔慰金を受けたものまたは、受給者が死亡した場合は兄弟姉妹。くわしいことは住民課の係へご相談ください。

旧五城目幼稚園敷地分譲

旧五城目幼稚園跡の敷地約百坪を分譲します。ご希望の方は役場総務課へお申し込みください。